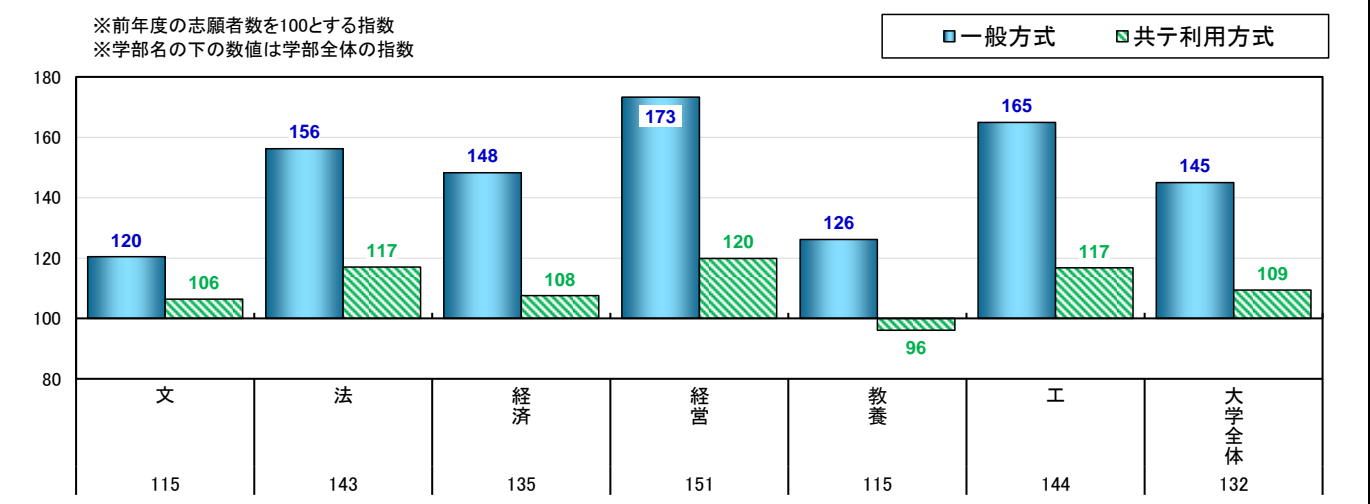


東北学院大：大学全体では3年ぶり増加、一般が併願割引で大幅増加 一般：+2,766人 共テ：+353人



主な入試変更点 選抜方法：全学部…〈一般・前期全学部型〉、〈一般・前期学科分割型〉、〈英語資格・検定試験利用型〉廃止
 〈一般・前期A日程〉、〈一般前期B日程(英語外部試験利用可能)〉新規実施
 ※A日程・B日程それぞれ最大3学科併願可能
 入学検定料：〈一般・前期〉…1出願につき28,000円→1出願目30,000円、2出願目以降1学科につき15,000円
 A日程出願者はB日程の1出願目25,000円、2出願目以降1学科につき15,000円
 〈共テ〉…1学科につき10,000円→1学科につき12,000円

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3,119人(132)の大幅増加、志願者数は3年ぶりに1万人を上回った。学部別では、全ての学部で大幅増加。特に、経営(151)、工(144)、法(143)の大幅増加が目立った。方式別では、一般方式は2,766人(145)の大幅増加。〈一般・前期〉で1日につき最大3学科まで併願が可能で、2学科目以降の出願については「併願割引」を適用することで、経済的負担の軽減から出願数が増加したことが影響。共通テスト利用方式は353人(109)の増加で2年連続増加、志願者数は3年ぶり4,000人を上回った。共通テスト受験前に出願締め切りとなる〈共テ・前期〉(111)は2年連続増加。一方で、共通テスト受験後に出願可能なく〈共テ・後期〉(96)はやや減少で、特に工(70)で共通テストの平均点ダウンによる敬遠が影響。

〈一般方式〉
 ○文(120)は、大幅増加で4年ぶり増加。学科別では、唯一減少の教育(95)は、系統への人気低下からやや減少で2年連続減少。その他の3学科はいずれも大幅増加。特に、(総合人文)(154)は3年ぶりの志願者数200人台。
 ○法(156)は、大幅増加で3年ぶり増加。方式別では、共通テスト受験後の出願が可能なく〈後期〉(136)は大幅増加だが、共通テスト難化による一般方式への駆け込み出願も影響。
 ○経済(148)は、大幅増加で3年ぶり増加。志願者数は2,000人を上回った。学科別では、(共生社会経済)(157)は前年度倍増に近い大幅増加に引き続き、2年連続大幅増加、(経済)(145)も大幅増加で志願者数は1,500人を上回った。
 ○経営(173)は、激増で3年連続増加。方式別では、共通テスト受験後の出願が可能なく〈後期〉(148)は大幅増加で、前年度大幅減少の反動に加え、共通テスト難化による一般方式への駆け込み出願も影響。
 ○教養(126)は、大幅増加で2年連続増加。学科別では、(地域構想)(154)は大幅増加で3年ぶり増加、(情報科学)(137)も大幅増加で4年ぶり増加、(言語文化)(115)は大幅増加、(人間科学)(108)は増加でいずれも2年連続増加。
 ○工(165)は、系統への堅調な人気と併願割引の効果で激増。学科別では、全ての学科で大幅増加。特に、(機械知能工)(201)は前年度大幅減少の反動も加わり倍増。

〈共通テスト利用方式〉
 ○文(106)は、3年ぶり増加。学科別では、(歴史)(122)、(総合人文)(117)はいずれも大幅増加で3年ぶり増加、(英文)(106)はやや増加で2年連続増加。一方で、(教育)(73)は系統への人気低下もあり大幅減少で2年連続減少。
 ○法(117)は、大幅増加で3年ぶり増加。方式別では、〈共テ・前期〉(118)は大幅増加で3年ぶり増加。共通テスト受験後の出願が可能なく〈後期〉(110)も増加で2年連続増加、共通テストの平均点ダウンを加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
 ○経済(108)は、前年度大幅増加の反動はなく増加で2年連続増加。学科別では、(共生社会経済)(70)は前年度2.5倍以上の激増だった反動で大幅減少、(経済)(127)は2年連続減少の反動で大幅増加と対照的。
 ○経営(120)は、大幅増加で3年連続増加。方式別では、〈共テ・前期〉(116)は大幅増加で3年連続増加。共通テスト受験後の出願が可能なく〈共テ・後期〉(160)は激増で、共通テストの平均点ダウンを加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
 ○教養(96)は、やや減少。学科別では、(人間科学)(74)、(言語文化)(82)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。(情報科学)(124)は大幅増加、(地域構想)(111)は増加で2年連続増加。方式別では、〈共テ・前期〉(95)はやや減少。一方で、〈共テ・後期〉(112)は増加で3年連続増加、共通テストの平均点ダウンを加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
 ○工(117)は、大幅増加で3年ぶり増加。学科別では、(環境建設工)(146)は大幅増加、(情報基盤工)(120)は4年連続大幅増加、(機械知能工)(107)はやや増加で2年連続増加。一方で、(電気電子工)(99)は微減だが2年連続減少。方式別では、〈共テ・前期〉(123)は大幅増加。共通テスト受験後の出願が可能なく〈共テ・後期〉(70)は大幅減少で、特に理系での共通テストの平均点ダウンの影響が大きかったことから、敬遠された。